



かもめぐみだより

令和3年9月24日
幼保連携型認定こども園
津田このみ学園

朝夕は風が心地よく過ごしやすくなってきました。トンボやコオロギなどの虫たちの声に子どもたちも秋の気配を感じています。日中はまだまだ暑さを感じる日も多く、額に汗をにじませながらしゃぼとりやオニごっこなどの群れ遊びや大縄、跳び箱などの運動遊びも楽しんでいます。

秋のさんぽ

近くの津田公園まで散歩に出かけました。出発の準備はとても早かったです。交通ルールを確認しているとさすがは年長さん。「道路ははしっこを通らなあかんで」「渡る時は右左をしっかり見る」とあかぐみ、あかぐみに教えてくれました。出発前には自然と年長児があかぐみの子どもたちの手を取り誘導してくれていました。道中も歌を歌いながら楽しく歩き進んでいきます。公園に着くとさらに足取りは軽くなっていました。少し木々の多い場所を歩くと「パキッ」「カサカサ」という音に子どもたちが耳を傾けます。「ここにある木、踏んだら音がする！」と意識しながら木を踏み歩いたり、枯れ葉が溜まっているところををジャンプしてみたりといろいろな音を楽しんでいました。散策しているときれいなどんぐりも見つかりました。坂になっているところを見つけると「段ボール持ってきて滑りたいな～」と坂滑りに意欲を持っていました。広場で休憩していると、A君が「かもめぐみで誰が一番走るの速いかな？」とつぶやくとそれをきっかけに競争をすることに。青空の下で思い切り広場を気持ちよさそうに走っていました。「今度来るときは段ボール持ってこよな！」と次の散歩を楽しみにする様子が見られました。



ザリガニのたまご

散歩に出かけていた年長さんが興奮した様子で帰ってきました。話を聞いてみるとザリガニを捕まえたらしくなんと卵がついているとのことでした。年長児たちが図鑑で調べてエサになるちくわやかたおぶし、パンなどを持ってきてくれました。毎日、世話をしその甲斐あって初めは黒かった卵が1ヶ月ほどで赤くなってきており日々の変化を楽しみにしています。今か今かと赤ちゃんザリガニが生まれてくるのを楽しみにしています。

